

ヒロシマ調査・研究入門—原爆被害を調べる人のためのガイドブック

発売：株式会社ザメディアジョン 体裁：A5版・224頁 定価：1980円（本体1800円+税10%）



ヒロシマを調査・研究するノウハウや関連施設、参考資料などを紹介した学術的入門書

広島は今年被爆80年を迎える。本書では、原爆被害と核に関わる現在の多彩な論点を示すとともに、広島を中心に全国各地の施設および資料、データベースを活用した調査のノウハウを紹介する。「ヒロシマ」をより深く知りたい、研究したいという人に向けた調査・研究の入門書になるとともに、地域学習、総合学習の入り口として、実践的な学びを促すフィールドワークガイドとなる一冊である。

contents

- 1章：調査・研究ガイド
- 2章：広島で調べる
- 3章：広島を体感する
- 4章：日本で調べる
- 5章：原爆被害・核問題を知る扉

【編者プロフィール】

広島市立大学広島平和研究所

広島平和研究所は、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、広島市立大学の附置研究機関として1998年4月1日に設立された。世界で最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指している。